



年度末の総仕上げの時期になってきましたね。図書館では春休みの長期貸し出しが始まっています。来年度に向けて、自分を成長させる本を読んでみませんか？ ご来館お待ちしております。

春休みの貸し出し

図書：5冊まで
雑誌：2冊まで

返却期限は4月13日（木）です。

貸出・返却の仕方について

- ✓ 図書室の本を借りる・返す時は必ず手続きをしてください。
- ✓ 返却期限内の返却をお願いします。
- ✓ 又貸しは禁止です。



特設展示コーナー

図書館前廊下の特設展示コーナーのPOPが1学年図書委員の作品に変わりました。展示してある本は借りることができます。借りたい人は、カウンターまで本をお持ちください。

月間多読賞(1月)

1年3組 C・Hさん (8冊)

月間多読賞【げっかんたどくしょう】1ヶ月間に本校図書館から本を4冊以上借りた人に贈られる賞。

特典① 「図書館より」「図書館だより」への名前(イニシャル)の掲載。

特典② 記念品(葉型賞状)の進呈。

チャレンジお待ちしております

図書館より Plus!

「浮雲心霊奇譚シリーズ」(既刊8巻) 神永学 / 集英社

「浮雲心霊奇譚シリーズ」は、マンガ・アニメ・ドラマ・舞台など多数のメディアmixがされ、累計発行部数700万部を突破した『心霊探偵八雲』(全12巻)のルーツを描く物語です。

舞台は江戸末期。主人公の浮雲(うきくも)は、大酒飲みで手癖が悪く、色を好んでしかも毒舌。鬘を結わないぼさぼさの髪で白い着物を着流し、外に出る時は墨で眼を描いた赤い布で両目を覆い、金剛杖を突いて盲人のふりをしているという奇人っぷり。しかしこの彼、憑きもの落としとしての腕だけは一流なのです。その理由のひとつが赤い布に隠された目。布を外すとそこには、血のように赤い双眸が現れます。浮雲はそ

の目で霊を見ることができるのです。しかし、霊が見えるだけでは憑きもの落としはできません。浮雲の周りには、剣の腕が立つ歳三や宗次郎、色街の情報に通じる玉藻、絵師を目指す八十八、武家の娘の伊織など、それぞれ得意分野を持った仲間たちがいます。八雲は彼らの協力を得ながら持ち前の推理力を駆使し、憑きものを落としていきます。そこでもうひとつ注目してほしいのは、「憑きものたちはなぜ憑いたのか」という点です。憑きものたちの物語にも注目してみてください。

最後に、「浮雲」という名前は八十八が付けた仮の名前です。浮雲は一体何者なのか。読んで確かめてみてください。

